

3月21日のウクライナ情報

安齋育郎

●米国が「中立」の欧州国家を脅迫する – モスクワ(2023年3月16日)

駐スイス米国大使は最近のインタビューで、ベルン(スイス)はウクライナ紛争で中立を維持する立場にないと主張し、スイス政府を脅迫しているように見える、とロシアの上級外交官は述べた。

ロシア外務省のスポークスウーマン、マリア・ザハロワは、米国の特使スコット・ミラーの最近の発言についてコメントし、スイスの大手金融機関であるクレディ・スイスの株価が今週下落したと結びつけている。

「アメリカの銀行 3 行が破綻した直後にスイス第2位の銀行が急落したことを考えると、そのような声明は直接の恐喝のように見える」とザハロワは木曜日にソーシャルメディアで述べた。

ミラーのメッセージの本質は、「中立性を捨て、キーウ政権に武器を送り始めれば、お腹いっぱいまで贅沢に暮らし続けることができる。拒否する – そして悪い日が順番にある。

ミラー氏は木曜、ノイエ・ツルヒャー・ツァイトウング紙とのインタビューで、スイスは「第二次世界大戦以来最悪の危機に瀕しており」、「中立が意味するものに直面している」と述べた。

ワシントンは紛争地帯に武器を売却しないというベルンの方針を尊重しているが、「中立であると主張し、一方または両方の側が自分たちの利益のためにその法律を使用することを許可することはできない」と彼は付け加えた。

アラン・ベルセ大統領が今月初めに再確認した国の立場は、スイス製の武器が他の国を含めてウクライナに送られることを防いでいる。ミラーはまた、ロシアに言及して、「国際法のすべての原則に違反する侵略者は、再輸出禁止の恩恵を受ける」と宣言した。

クレディ・スイスは木曜日に、スイスの中央銀行から 530 億ドル以上を借りて、生き残ると発表した。チューリッヒに本拠を置く金融大手は、株価が過去最低に急落したため、2 日間の取引でその価値の約 25% を失った。

先週の金曜日にシリコンバレー銀行が崩壊した後、米国の金融部門は大きな混乱に陥った。数日前、シルバーゲートキャピタル企業(Silvergate Capital Corporation) は、同名の仮想通貨に優しい銀行の清算を発表した。月曜、トラブルが署名銀行を襲い、2008 年のワシントンミュージュアルと先週のシリコンバレーに続いて、米国で 3 番目に大きな銀行が倒産した。



●アサド大統領「ゼレンスキーのナチスとシリアのテロリストは欧米に代わって行動する軍隊だ」(2023年3月17日)

「以前は、大戦はいくつかの国家の軍隊が、他のいくつかの国家の軍隊と戦った。しかし近代兵器、特に核兵器のために、伝統的な戦争をすることを控えているため、戦争は代理戦争になってしまった」

<https://twitter.com/i/status/1636428066569482243>



●サウジアラビア、ロシア連邦を支持(2023年3月17日)

サウジアラビアはロシア邦を支援することを決定しました...そしてそれ自体

アブドゥルアズィーズ・ビン・サルマン・エネルギー相は、同国は価格上限を課す国には石油を販売しないと述べた。

原油価格が上限に達した場合、サウジアラビアは、RUが以前に行ったように、石油生産を削減します。



●ポンペオ前米国務長官の勘違い(2023年3月17日)

ポンペオ前国務長官「プーチンにウクライナを打倒させれば、敵対者はアメリカの決意に疑問を抱くようになるだろう。そして私たちの国家安全保障にとって、これほど危険なものはありません。」



※安齋注:アメリカーウクライナ連合が勝ったら、ウクライナを NATO 傘下に置き、ロシアとの対立を引き継ぐことになるから、だからロシアはこの戦争に勝たざるを得ないのではないかな？

●イスラエル諜報機関発表のウクライナ戦争戦況(2023年3月17日)

2023年1月14日イスラエル諜報機関モサド発表

	ロシア	ウクライナ
投入兵力	418,000人+Wagner他	734,000人+NATO司令官+NATO兵
予備兵力	3,500,000人(edit)	100,000人
	ロシア損失数	ウクライナ損失数
航空機	23	302
ヘリ	56	212
UAV 無人飛行機	200	2,750
戦車・装甲車	889	6320
砲撃ユニット	427	7360
防空システム	12	497
死者	18,480	157,000
負傷者	44,500	234,000
捕虜	323	17,230

NATO軍教官死者(アメリカ・イギリス): 234

NATO兵死者(ドイツ・ポーランド・リトアニアなど): 2,458

傭兵死者: 5,360

●濡れ手に粟 ウクライナ特需で独ラインメタルはどれだけ稼いだか(2023年3月17日)

戦車「レオパルト 2」の供給に協力している独の軍需・自動車部品製造のラインメタル社はウクライナ紛争特需のおかげで過去最高の収益を上げたと発表した。フィナンシャルタイムズ紙が報じた。フィナンシャルタイムズの記事筋情報によれば、修正後の 2022 年の営業利益は 27%増の 75.4 億ユーロ(1 兆 0593 億円超)に達した。

ラインメタルは 2023 年の売り上げは前年 2022 年の 64 億ユーロ(8991 億円)を大幅に超え、74 億(1 兆 0396 億円)から 76 億ユーロ(1 兆 0677 億円)の王台に達すると予測している。ラインメタルのアーミン・パッパーガーCEO は「戦争は欧州においてラインメタルのための新たなエポックを切り開いた」と語った。

パッパーガーCEO によれば、ラインメタルは現在、50 台のレオパルト 2 と 100 台のレオパルト 1 の修理を行っている他、スイスから 36 台のレオパルト 2 を受領する予定。スイスからの 36 台は後日ウクライナへ渡される。

ロシア国防省は 2022 年 12 月の時点で、米国および NATO 加盟 27 カ国はウクライナへの武器調達にすでに 970 億ドル(12 兆 8700 億円超)を費やしたと発表している。

ロシア対外情報庁は 2 月、ウクライナは 2021 年末からこれまでに NATO 諸国から受け取った装備品の総額を発表した。



●中国の習近平国家主席、モスクワに到着(2023年3月20日)

中国の習近平国家主席が 20 日、公式訪問のためロシアに到着した。習氏を乗せた航空機は、モスクワのヴヌーコヴォ空港に着陸した。スプートニク通信の特派員が現地から伝えた。

これに先立ち、ロシア大統領府広報室は、習主席は 20 日から 22 日までの日程でモスクワを訪問すると発表した。習氏の正確な訪問プログラムは不明。ロシアのペスコフ大統領報道官によると、20 日午後(日本時間深夜)に「1 対1」で非公式の首脳会談が行われる。21日には公式の首脳会談が実施される予定。

習氏は 3 月 10 日、3 期目の国家主席に選出された。ロシアは習氏が再選後に初めて訪問した国となった。中国外務省の汪文斌報道官は先に、プーチン大統領と習主席は二国間関係や双方が関心を寄せる主要な国際・地域問題について踏み込んだ意見交換を行うと発表した。



●EU、ウクライナ向け弾薬購入のため 10 億ユーロ拠出へ メディア報道(2023年3月20日)

欧州連合(EU)は、ウクライナに供与を約束した弾薬を 1 年以内に購入するために、基金「欧州平和ファシリティ(EPF)」から 10 億ユーロ(約 1403 億円)を拠出することで合意する方針。ブルームバーグが消息筋を引用して報じた。

また EU 加盟国は、加盟国が自国の備蓄から近代的な弾薬および旧ソ連製の弾薬をウクライナへ供与することに関連した費用を補償するために、同じく欧州平和ファシリティからさらに 10 億ユーロを支出することも支持する見込み。

ブルームバーグによると、この問題は週末にブリュッセルで開催される EU 加盟国の会合で合意に達する可能性がある。

スプートニク通信はこれより先、英紙フィナンシャル・タイムズを引用し、EU でウクライナへの安定した弾薬供与を阻んでいる原因について報じた。主な問題は、欧州諸国が本格的な武力紛争に必要とされるレベルの防衛産業の生産を確立できないことだという。

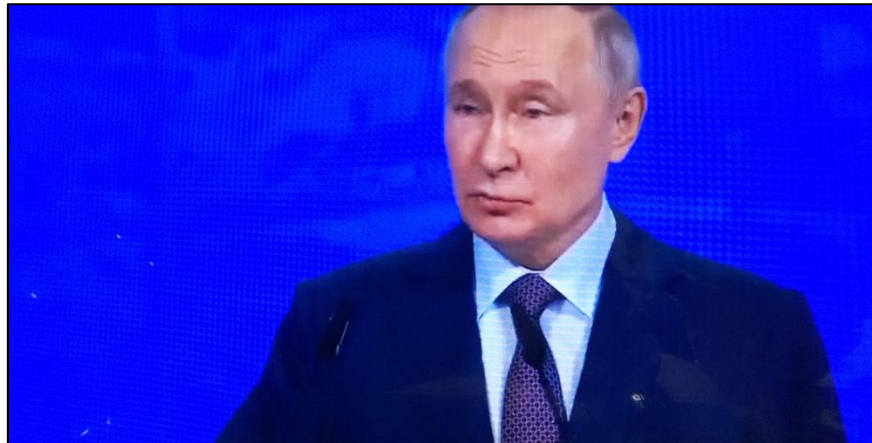


●ロシア実業家・起業家連合会議の本会議でのプーチンの演説(2023年3月16日)

ロシア実業家・起業家連合会議の本会議でのプーチンの演説から：「私たちは不況と消費部門の衰退を経験すると予測されていましたが、西側諸国は現在、住民にサラダの代わりにカブを提供していますが、彼らは私たちに頼る必要があります。現在、ロシア連邦にはさらに多くのビジネスが存在する可能性があります。それを見逃すことはできません。ロシアに残った起業家は、ロシアを離れた起業家よりも賢いことが判明しました。当局は、短期的な結果ではなく、戦略的発展に焦点を当てた責任ある実業家や起業家を支援します。

プーチン大統領は、以前に海外でお金を引き出したことのあるビジネスマンに質問し、西側ではそれは「より信頼できる」ものでした。しかし今はどうか？と述べた。

<https://twitter.com/i/status/1636360063337259010>



●デサンティス知事はロシアによるウクライナ侵略を「領土紛争」と認識(2023年3月15日)

【ワシントン＝渡辺浩生】米南部フロリダ州のデサンティス知事は14日までに、ロシアによるウクライナ侵略を「領土紛争」として同国へのさらなる関与は米国の「重大な国益」ではないとの見解を示した。2024年の大統領選で共和党候補指名争いへの出馬が取り沙汰されるが、ルールに基づく国際秩序を守る米国と同盟友邦国の共通の利益とするバイデン大統領との対立を鮮明にし、波紋を広げている。

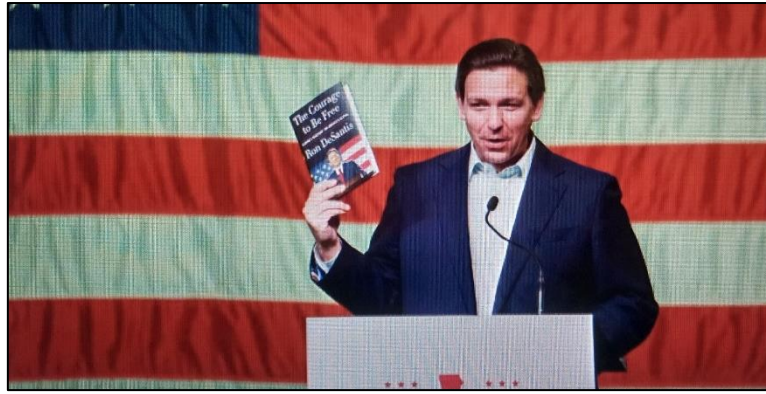
FOXニュースの人気ホストで、プーチン露大統領を擁護する発言をしたことがあるタッカー・カールソン氏が共和党候補と目される人物にウクライナに関する質問状を送り、返答をツイッターに投稿した。

デサンティス氏は「米国の数々の重大な国益」に米国境の保護、米軍即応体制の整備、エネルギー安全保障確立、中国の経済・軍事力抑制を挙げたうえで「ウクライナ・ロシア間の領土紛争にさらに巻き込まれるのはそれら(重大国益)のひとつではない」と回答。

「戦いの続く限り」続けるとするバイデン政権の支援を「空の小切手」の資金供給とし、「明確な目的や説明責任を欠き、最も差し迫った課題から注意をそらすものだ」と批判した。

デサンティス氏はまだ出馬表明していないが、各種世論調査でトランプ氏に次ぐ高い支持率を維持。教育など内政課題で保守主義を鮮明にするが、外交姿勢が明らかになるのはまだだ。

ロシアの侵略を「人道上の犯罪」としウクライナ支援への結束を「自由と民主主義を守る戦い」とするバイデン氏と相反し、支援継続や介入の拡大に消極姿勢を示す一部の保守層の声を意識したものとみられる。



10日、米中西部アイオワ州で、自伝を手に共和党集会で話すデサンティス氏(ロイター)

●タッカー・カールソンの質問:ウクライナに送った金はどこに行った(2023年3月16日)

『タッカー・カールソンが「ウクライナに送っているお金はどこに行っているのか？」

「ロシアの典型的な年間軍事予算以上の金額をウクライナにつき込み、ウクライナ軍はまた弾切れになってしまったのか。

それはゼレンスキーに聞くべきことかもしれません。お金はどこに行ったんだ？ →英語字幕」

<https://twitter.com/i/status/1636161247237341185>



●ジャッジ・ナポリターノ vs.フィル・ジラルディ、ノルドストリーム事件を語る(2023年3月16日)

字幕機能呼び出して視聴して下さい。大体わかるでしょう。

<https://youtu.be/90jtDRp0EqY>



●ロシア軍の攻勢「頂点に」、米研究所が分析 成果は数カ月間少しずつ(2023年3月20日)

※安齋注:アメリカのシンクタンクの分析です。

米国のシンクタンク「戦争研究所」(ISW)は 19 日、ウクライナ東部ドンバス地方におけるロシア軍の攻勢が「頂点に達しつつある」一方、この数カ月間、少しずつしか成果を上げられておらず、ウクライナが主導権を取り戻す可能性があるとの分析を示した。

ISW は、ウクライナの政府関係者による、東部ドネツク州ブフレダール付近でのロシア軍の大きな損失が同州全体における攻撃能力を低下させているとの分析に言及。そのうえで「ロシア軍の攻撃のテンポは、ここ数週間で鈍化している」と改めて強調した。

ISW によると、ロシア軍は昨年 9 月の部分動員で約 30 万人を招集したものの、この数カ月間、激戦が続くドネツク州バフムートを含めた前線で少しずつしか成果を上げられていないため、「今後の動員でさらに兵力を投入したとしても、今年のうちには劇的に異なる結果をもたらす可能性は極めて低い」という。そのため、ウクライナが主導権を取り戻し、重要な前線で十分に反攻し得る立ち位置にいるとの見方を示した。

また、ロシアのプーチン大統領がロシア軍の占領下にあるウクライナ南東部マリウポリを訪れたことについて、「無敵の戦時指導者」と印象づけると同時に、国際刑事裁判所(ICC)が逮捕状を発出したことへの反応でもあっただろうとした。



●これがマクロンの民主主義の姿です(2023年3月16日)

<https://twitter.com/i/status/1636101783981547520>



●アメリカの司祭;ロシアに移住することを夢見る西側キリスト教徒が増えている(2023年3月16日)

ロシアに移住することを夢見ている西側のキリスト教徒がますます増えている。

米国からロシアに移住したジョセフ・グリーソン司祭は、西側諸国の何千人ものキリスト教徒がロシアへの移住を望んでいる、と RIA Novosti に語った。

ジョセフ神父はテキサスに住み、その後イリノイ州のアンティオキア正教会の教会で奉仕し、2017年に子供たちと共にロストフ大王の近くのロシアに移り、そこでロシア正教会の司祭になった。

「官僚的な問題はあるものの、米国、オーストラリア、カナダ、英国ではすでに何千人もの人々がロシアへの移住を望んでいる。彼らは、神がここにいること、真の信仰がここにあることを知っている。

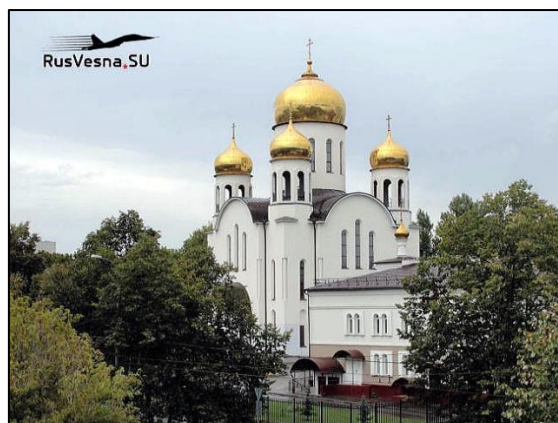
私自身、米国最高裁判所が同性愛者の結婚を認めたため、ロシアに引っ越した。私はアメリカが神に反対し、キリスト教に反対していることに気づいた。

私と家族は、神に立ち返った国に住みたいと思っていた」とジョセフ神父は述べた。彼によると、米国の多くの人々は「ロシアに反対していない」という。

「しかし、米国の国家権力は悪魔的であり、ロシアだけでなく、アメリカ人自身にも反対している。

米国には正教会はほとんどないが、プロテスタントやカトリック教徒は多く、同性結婚やトランスジェンダーの人々のイデオロギーなどに反対している。

したがって、私たちは真のロシアを示す必要がある-教会、家族、人生の喜びを、現在西側でブロックされているメディアだけでなく、インターネット、ソーシャルネットワーク、ブログでも示す-これには、多くの人々が」と司祭は信じている。



●フランス、止まりません(2023年3月20日)

<https://twitter.com/i/status/1637716658893770753>



●第2回ロシア・アフリカ会議ロシアのプーチン大統領(2023年3月20日)

「我々はロシアとアフリカの伝統・道徳規範・社会的基盤を守り、外から来る植民地イデオロギーに抵抗している」

「ロシアはアフリカ国家の 200 億ドルの負債を帳消しにした」

「穀物取引が延長されない場合、アフリカの特に困っている地域に提供したい」

<https://twitter.com/i/status/1637835441356558337>



第 2 回ロシア・アフリカサミットは 7 月にサンクトペテルスブルグで開催される予定である。

ロシア外務省オゼロフ特命大使によると、米・加・EU が、アフリカの指導者にロシア側とのパートナーシップをやめるよう要求しているという。

「アフリカの指導者や当局、議会、代表団のところに、彼らはほぼ毎日やってくる」

●英国の国連代表;ロシア語で話す(2023年3月14日)

英国政府代表部ファーガス・エッカーズリーの政治調整官は、国連安全保障理事会の会議でロシア語を話し、ロンドンがロシア恐怖症を助長していないことを証明した。

「私たちはロシア嫌いではない。両国の間には歴史的な関係があり、2つの世界大戦で共に戦った。ロシアの豊かな文化遺産は、わが国で深く尊重されている。

私自身、ロシア語、その歴史、素晴らしい文学を 7 年間学びました」と外交官は述べた。

その後、彼はすでに英語で、ロンドンは「ロシアの崩壊」を望まず、逆に、ロシアが繁栄することを望んでいると述べた。

昨年 10 月、11 カ国のグループが国連人権理事会 (HRC) の前で共同声明を発表し、一部の国におけるロシア人とロシア語を話す人々に対する差別を非難した。

この文書には、ロシア、ベラルーシ、ボリビア、中国、エチオピア、イラン、北朝鮮、ミャンマー、ニカラグア、シリア、ベネズエラが署名した。

